

グラスバレー

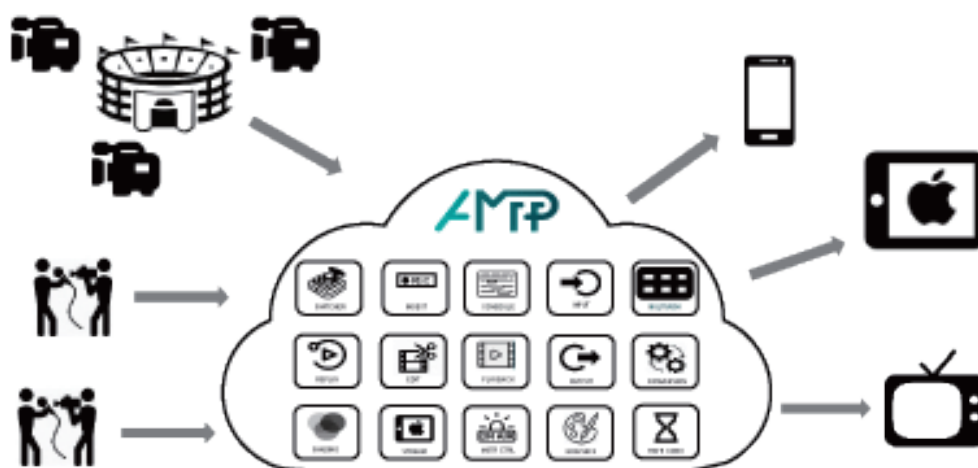
<映像制作 / 放送関連機材部門>ホール 6 No.6111

グラスバレーは、“We Love Live”を旗印に、メディア / エンターテインメント市場の未来に対するビジョンをサポートする、新しいコーポレートアイデンティティとマーケティングを開始しました。InterBEE 2022 では、多くの放送局様でご採用いただいている EDIUS の最新バージョンである “EDIUS X Workgroup”、新製品の “T2 4K Plus” の他ライブに必要とされるレスポンスと精度を満たすために設計された、スケーラブルな SaaS プラットフォーム “GV AMPP” を展示致します。

出展製品のご案内

GV AMPP

放送向けクラウドベースの SaaS 製品です。必要な機能を必要な分だけサービスとして利用出来るアプリケーションソフトウェアを提供します。AMPP を使うと、制作に必要な機能を全て起動させたり停止させたりする事が出来ます。これらの機能をスピンアップ&ダウンして、使用したサービスの料金のみを支払う事が出来ます。



GV AMPP シリーズ

EDIUS X Series

業務用ノンリニアビデオ編集ソフトウェア「EDIUS X Workgroup」世界中のユーザーからリクエストを受けたバックグラウンドレンダリング機能を搭載。レイアウトモーショントラッキング機能を追加。「追跡モード」と「固定モード」を新設しました。リアルタイム編集システム「REXCEED W4000 G2」



T2 4K シリーズ

入力 (SDI × 4 系統) と出力 (SDI × 4 系統) を個別に備えた IO ボード搭載の「T2 4K Plus」が登場。最新 Ver では、HD3 チャンネル再生 / 収録 (Elite/Pro のみ) や新フォーマットに対応など、多くの機能を追加する事が可能となっています。デジタルレコーダー / プレイヤー 「T2 4K Plus シリーズ」



※展示製品、展示内容は都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ソニー / ソニーマーケティング

<映像制作 / 放送関連機材部門>ホール 7 No. 7416

Inter BEE 2022 「Creators' Cloud」 や 「Networked Live」 など最新の映像制作ソリューションや豊富なカメラ群を展示

ソニーは、11月16日(水)から幕張メッセ(千葉県千葉市)で開催されるメディア総合イベント「Inter BEE 2022」で、撮影から編集、コンテンツ管理・配信まで、クリエイターの創造力を掻き立て、世界を感動で満たす多彩な映像制作をサポートする最新のソリューション・商品群を展示ホール7にて紹介、展示します。

会場では、9月開催の国際放送機器展「IBC (International Broadcasting Convention) 2022」(オランダ・アムステルダム)で発表した、クラウド制作プラットフォーム「Creators' Cloud (クリエイターズクラウド)」、オンプレミスクラウド・ライブプロダクション「Networked Live (ネットワークド ライブ)」など映像制作を総合的にサポートする最新のソリューションに加え、Cinema Line カメラ『FR7』や『FX30』、デジタルシネマカメラ「VENICE 2」向けのカメラヘッド延長システム「CBK-3620XS」など最新のカメラ群をご紹介します。

また、会場展示と合わせて、クラウドソリューションや多彩なカメラの活用例などが学べるオンラインセミナーを開催します。

特設サイト

<https://www.sony.jp/professional/inter-bee/2022/>

ソニーは、当社のテクノロジーでクリエイターと未来の映像表現を共創していきます。

◆詳細

URL : <https://www.sony.co.jp/corporate/information/news/202211/22-037/>

【主な展示内容】

Creators' Cloud

1. クラウド上での効率的なコンテンツ制作・共有・配信を実現する次世代のクラウド制作プラットフォーム「Creators' Cloud (クリエイターズクラウド)」

ソニーが培ってきたクラウド技術・サービスを更に発展させ、未来の映像制作ワークフローを見据えた次世代のクラウド制作プラットフォームを「Creators' Cloud」として導入します。「Creators' Cloud」では、クラウド技術と多様なカメラ、通信技術、AI、メタデータなどを組み合わせて、新たな映像表現や迅速かつ効率的な制作を実現します。展示では、データの伝送、編集、配信までを実現する「Creators' Cloud」で提供する各クラウドサービスを紹介します。

< Creators' Cloud で提供する各クラウドサービス >

・多彩なカメラで撮影した映像を、シームレスにクラウドへ伝送するためのゲートウェイ機能を提供するクラウドカメラポータル「C3 Portal (シースリーポータル)」

新たにショルダーカムコーダー3機種『PXW-Z750』、『PXW-Z450』、『PXW-X400』が、「C3 Portal」に今年10月末に対応しました。また、既存の対応カメラである『PXW-Z280』、『FX9』と「C3 Portal」との連携機能^{*1}を拡張するなど、カメ

ラとクラウドサービスとの連携を更に高めていきます。ブースでは、ショルダーカムコーダー『PXW-Z750』を、「C3 Portal App」を用いてQRコードで簡単に「C3 Portal」に接続する様子に加え、Teradek社のエンコーダー製品から「C3 Portal」へのファイルアップロード連携(開発中)のデモを国内初展示します。

※1: 2022年7月、対応機種に『FX6』追加済み。(ILME-FX6 本体ソフトウェアアップデート Ver. 3.00)

・収録された素材や編集された映像ファイルを、社内外の制作チームで共有・共同作業できる映像制作に特化したクラウドメディアストレージ

【Ci Media Cloud (シーメディアクラウド)】

今年9月のアップデートにより、さらに進化し利便性を向上したUX(ユーザー体験や操作性)とサービス内容を展示します。

また、「C3 Portal」と同様に、Teradek社のエンコーダー製品から「Ci Media Cloud」へのファイルアップロード連携(提供中)のデモを展示します。

また、「Ci Media Cloud」は、アマゾンウェブサービスジャパン合同会社ブース(展示ホール6)においても展示します。

・クラウド中継システム「M2 Live (エムツーライブ)」より直感的な操作GUIへのアップデートや、外部サービス連携によるリアルタイムCG表示などに対応した、2023年2月以降提供予定の新バージョンを国内初展示します。また、同コーナーではクラウド中継システム「M2 Live」と新たなAI映像解析サービス「A2 Production (エーツープロダクション)」の連携について、ライブ映像制作からリアルタイム性の高い自動ハイライト生成、マルチプラットフォーム配信といった一連のワークフローを提案します。

・AI映像解析サービス「A2 Production(エーツープロダクション)」

ソニーが培ってきたAI技術と様々なメタデータを活用した「Media Analytics Portal」を進化させ、SaaSサービスとして2023年2月以降に新たに提供予定のAI映像解析サービス「A2 Production」を国内初展示します。「A2 Production」は、AIによる映像解析サービスに加え、ライブおよびファイル映像の取り込み・編集・配信・管理などの制作ワークフローを拡張します。新機能の「AI Rule Engine Maker」は、直感的なGUI操作でAIのルール設定が可能になり、ハイライト映像の自動生成や編集準備工程の自動化、映像・音声解析結果のメタデータ化など、AI技術の活用を容易にします。

・ワークフローソリューション「NavigatorX (ナビゲーターエックス)」がクラウドへの対応を強化

従来より、映像コンテンツの統合管理と運用自動化を実現するソリューションとして提供している「NavigatorX」がさらに進化し、クラウド環境での提供に最適化した「NavigatorX Cloud (ナビゲーターエックスクラウド)」を追加し、今年11月上旬以降より提供を開始します。これにより「NavigatorX」は、オンプレミスとクラウド環境の両方に対応するメディアアセット管理を実現し、映像コンテンツの統合管理やデータの活用、運用自動化による効率

化など、映像制作のDX（デジタルトランスフォーメーション）をサポートします。また、AI技術を用いた編集業務の自動化や、アーカイブコンテンツのクラウド管理などを実現することに加え、今後 SMPTE ST2110 接続によるライブ収録機能の拡張なども予定しています。また、本ソリューションで使用するアマゾン ウェブ サービスのクラウド環境構築や、保守・運用サポートを含めたワンストップのマネージドサービスとして提供します。

Networked Live

2. 場所や規模を問わずライブ制作の環境を構築するオンプレミスクラウド・ライブプロダクション「Networked Live（ネットワークライブ）」

当社は、業界に先駆けて提案してきた IP ベースの映像制作ソリューション「IP Live プロダクションシステム」の枠組みを広げ、ネットワークに繋がる制作機器やクラウド上の制作リソースなどを活用した、次世代のリモートプロダクションにも対応するオンプレミスクラウド・ライブプロダクションを「Networked Live」として展開します。「Networked Live」の導入により、放送局などが使用するネットワークの効率化に加え、オンプレミスやクラウドに分散した制作リソースを必要に応じて組み合わせることで、場所や規模を問わずライブプロダクションの環境を構築することが可能です。「Networked Live」で提供するサービスや、対応する新たなスイッチャーなどを展示します。

< Networked Live の提供サービス・商品 >

・Nevion（ネヴィオン）社のメディアネットワーク用 SDN コントローラー「VideolPath」の Federation 機能

SDN（Software Defined Network = ネットワークの経路制御の一元管理を可能にするソリューション）コントローラー「VideolPath」に追加された、Federation（フェデレーション）機能を展示します。

本機能により複数の独立したシステムでの運用を担保しつつ、複雑な手間なくシステム間で信号リソースを自由にやり取りすることが可能になります。

また、「VideolPath」の高度なネットワーク制御技術によりネットワークの規模や経路制御を UI で可視化し、安全に一元管理することや、障害時におけるシステムの継続性を強化しています。

IP PAVILION（展示ホール 8）では、ソニーのデモ用 IP 中継車と他ブース間のネットワーク制御に「VideolPath」を用いた展示デモを行います。

・スタックブル構造のライブプロダクションスイッチャー「MLS-X1」（国内初展示）

映像制作規模の変化に応じて、スイッチャーを構成するプロセッサ一台数の追加やシステムの組換えが可能なスタックブル構造を採用し、様々な規模のスイッチャー用途に柔軟に対応できます。今後リモート制作だけでなく、オンプレミスでもクラウド上でも、複数システム間のスイッチャーを統合して運用可能にすることを予定しています。

・IP カメラエクステンションアダプター向けの「JPEG XS」ソフ

トウェア「HZCE-JX50F」、【HZCE-JX50H】（国内初展示）

システムカメラと接続することで、リモートプロダクションで利用可能な IP カメラエクステンションアダプター「HDCE-TX50」、【HDCE-TX30】向けに、新開発のソフトウェア「HZCE-JX50F」、【HZCE-JX50H】（別売）を今年 11 月中旬以降に発売予定です。本ソフトウェアを適用することで、SMPTE ST2110-22 規格に対応した圧縮ストリーミング形式「JPEG XS」に対応し、システムカメラで撮影した映像のデータ圧縮が可能になるため、ネットワーク回線コスト削減に貢献します。

3. 多彩な映像表現を可能にする豊富なカメラ群や周辺機器

映像制作用カメラ商品群 Cinema Line（シネマライン）から、フルサイズセンサー搭載レンズ交換式回転型カメラ【FR7】、新開発の APS-C サイズ（スーパー 35mm）の CMOS イメージセンサーを搭載したレンズ交換式カメラ【FX30】、デジタルシネマカメラ【VENICE 2】向けのカメラヘッド延長システム【CBK-3620XS】など、最新のカメラ群を展示します。また、マルチカメラによるライブ映像制作用途のシステムカメラでは、今年 11 月 1 日より国内販売を開始した、グローバルシャッター機能付き 2/3 型 3 板式 4K イメージセンサーを搭載する【HDC-3200】を展示します。ソニーは、様々な映像制作のニーズに応える多彩なカメラシステムや、最新のプロオーディオやディスプレイなどを紹介します。

・フルサイズセンサー搭載レンズ交換式回転型カメラ【FR7】

・新開発の APS-C サイズ（スーパー 35mm）の CMOS イメージセンサーを搭載するレンズ交換式カメラ【FX30】

・デジタルシネマカメラ【VENICE 2】用のカメラヘッド延長システム、VENICE エクステンションシステム 2 【CBK-3620XS】（国内初展示）

< システムカメラ >

【HDC-3200】

・グローバルシャッター機能付き 2/3 型 3 板式 4K イメージセンサー搭載、コストパフォーマンスに優れたマルチフォーマットポータブルカメラ【HDC-3200】（国内発売日：2022 年 11 月 1 日）

カメラスタジオコーナーでは、映像制作の各方面で多くの導入実績があるマルチフォーマットポータブルカメラ【HDC-5500】や【HDC-F5500】などの展示も行います。

この他、バーチャルプロダクションのブースを設け、Crystal LED B シリーズとデジタルシネマカメラ【VENICE2】を組み合わせた映画や CM 制作用途を想定したデモや、2 式の 4K グローバルシャッターを搭載したシステムカメラ【HDC-5500】シリーズをスイッチングするブロードキャスト用途を想定したデモおよび、プレゼンテーションを実施します。

※「ソニー」および「Sony」、並びにこのプレスリリース上で使用される商品名、サービス名およびロゴマークは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。その他の商品名、サービス名、会社名またはロゴマークは、各社の商標、登録商標もしくは商号です。

※その他記載されている会社および商品名は、各社の商標または登録商標です。

ゼンハイザージャパン

<プロオーディオ部門>ホール4 No.4104

ゼンハイザーは、第二次世界大戦後間もない1945年に、技術者であり大学教授でもあったフリッツ・ゼンハイザー博士によってドイツのハノーバーに設立されました。これまで70年以上ものあいだ革新的なアイデアと情熱を投入してオーディオ業界のスタンダードやトレンドを創出し続けてきました。その卓越したテクノロジーは現在でも業界を牽引し業界スタンダードとして世界中の著名なアーティスト、ドラマや映画など映像制作者、動画クリエイター、放送局、レコーディングスタジオ等に採用されています。

SENNHEISERからは完全な周波数等間隔プランで1.9msec低遅延のA型WS帯デジタルワイヤレスシステム Evolution Wireless Digital(EW-D)と、NEUMANNからは小型で楽器のニュアンスを自然な音色として収録することが可能な Miniature Clip

Mic System や、初のオープン型ヘッドフォンのNDH 30といった新製品を揃えてお待ちしております。



EW-D シリーズ <新製品>

<https://ja-jp.sennheiser.com/ew-d>


Miniature Clip Mic System<新製品>

<https://ja-jp.neumann.com/mcm-system>


Neumann NDH 30 <新製品>

<https://ja-jp.neumann.com/ndh-30>

バルコ

<映像制作 / 放送関連機材部門> ホール5 No. 5513

見どころ

1. 次世代型の設備用高精細 LED ディスプレイ、TruePix シリーズをアジア初公開
 2. 1.2mm ~ 2.5mm までの各ピッチの LED ディスプレイの比較展示
 3. 高輝度・高機能プロジェクター UDM-4K22 によるマッピング演出
 4. 小型・軽量の 14,000 ルーメン レーザープロジェクター G62-W14 を初公開
 5. マルチフォーマットのプレゼンテーションシステム E2 によるブース全体の映像配信・制御
 6. ClickShare ワイヤレスカンファレンスモデル、CX シリーズの展示
- 次世代の高精細 LED ディスプレイである TruePix をアジアで初公開します。

設置やメンテナンスの際にピクセルの破損が大きな障害になる高精細 LED において TruePix は独自のメカニズムでこの破損リスクを極限まで低減。ブースではそのメカニズムをご確認頂けるような展示をご用意します。

LED の各ピッチ比較展示や現行及び廉価版 LED (XT1.2 及び IEX2.5) の展示、ベゼルレス液晶マルチディスプレイ (Unisee)、高輝度・高性能から中輝度・高コストパフォーマンスのレーザープロジェクター (UDM-4K22 及び G62-W14)、それらの各映像を集中コントロールする画像処理装置 (E2 及び PDS-4K) まで大型映像表示装置をワンストップショップでご提案できる BARCO の各ソリューションをご紹介します。

また皆さまにご好評頂いております ClickShare CX シリーズも新機能等をご体験できるよう準備しております。

問い合わせ先：0357628720

フォトロン

<映像制作 / 放送関連機材部門>ホール5 No.5311

フォトロンブースでは、《テクノロジーの融合で実現する制作の未来》をテーマに、クラウドや ST2110 などの IP ストリームを活用して、Live から Post まで映像制作を幅広くサポートするプロダクト/ワークフローを以下の6つのゾーンにてご提案します。

- リモートエディット&ワークフロー
- セントラライズ収録/送出
- コンテンツ・エブリウェア
- リモート中継制作
- グラフィックス
- ネットワークインフラ

フォトロンブース出展コンセプト

徐々に浸透しつつあるリモート編集・リモート制作および、リモートプロダクションにご活用いただけるプロダクションサポート・クラウドサービス、そして効率的なシステム運用を実現するセントラライズ収録システムを出展します。

また、フォトロン本社(東京都千代田区)と InterBEE2022 会場をインターネット接続し、リモートオペレーションによるワークフローを実機にてご体験いただけます。

同時開催の特別企画展『InterBEE IP Pavilion』への参加も予定しており、ここでは、EVS 社ハイエンドライブプロダクションサー

バ[XT-VIA (XiP)]、ブロードキャストコントローラー[Cerebrum]、IP ベース・ライブリプレイ / ハイライトソリューション[LSM-VIA]をはじめとする EVS 社が提供する IP 対応の最先端テクノロジーによる「リソースの共有」「共通基盤化」へのアプローチをご覧いただけます。

さらに低遅延コーデック JPEG XS に対応した SD-IP ゲートウェイ [Neuron] による講演会場からの JPEG XS 伝送も見どころのひとつです。

その他、XR ライブシステム、クラウドベースコンテンツ管理サービス、デジタルコンテンツ制作サービス等、フォトロンならではのユニークなソリューションやサービスを幅広くご紹介します。

●内容に関する問い合わせ先

株式会社フォトロン 映像システム事業本部

E-mail : sales@photron.co.jp tel : 03-3518-6273

web : <https://www.photron-digix.jp/>

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング 21 階